



2025年2月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年10月15日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
コード番号 2798 URL <https://www.ystable.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船曳 睦雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 武本 尚子

TEL 03-5412-0065

半期報告書提出予定日 2024年10月15日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年3月1日～2024年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	5,944	7.4	64	22.7	106	19.7	78	0.4
2024年2月期中間期	5,537	22.0	83		132	126.1	78	386.9

(注) 包括利益 2025年2月期中間期 78百万円 (0.5%) 2024年2月期中間期 78百万円 (386.7%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	23.84	
2024年2月期中間期	23.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	4,940	496	10.0
2024年2月期	4,715	417	8.9

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 496百万円 2024年2月期 417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		0.00	0.00
2025年2月期		0.00			
2025年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,069	7.0	225	25.3	338	8.8	306	169.5	93.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期中間期	3,298,400 株	2024年2月期	3,298,400 株
期末自己株式数	2025年2月期中間期	282 株	2024年2月期	236 株
期中平均株式数(中間期)	2025年2月期中間期	3,298,141 株	2024年2月期中間期	3,298,164 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、賃上げの動きや訪日外国人旅行者数の増加など前向きな動きがみられましたが、ウクライナ情勢、イスラエル・パレスチナ情勢等に起因した物価上昇等もあり、依然として不安定な状況です。

外食業界におきましては、経済活動の正常化に伴う消費者の外食需要の増加及びインバウンド需要により回復傾向にある一方、昨年に引き続き猛暑や、台風・豪雨等による経済活動の乱れの影響を受けました。人材不足や食材費等の価格高騰も激しく、事業環境は引き続き厳しい状況です。

このような状況の下、当社グループは、高付加価値化、インバウンド需要の取り込み、和食事業の強化、カジュアルイタリアン事業の展開、そして人材不足・コスト高騰への対応といった課題に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間におきましては、外食需要の回復やインバウンド需要の増加等により売上高は好調に推移してまいりました。2024年7月及び8月には、台風や猛暑の影響による消費活動の停滞により売上高が伸び悩んだものの、当中間連結会計期間全体としては、前年同中間期を上回る売上高となりました。利益面におきましては、増収による増益効果はありましたが、複数の新規出店及び旗艦店の一つである「XEX WEST」の全面改装等、新規投資及び付加価値を高める投資に取り組んだことに加え、人材確保にかかる費用が増加したこと等により、前年同中間期を下回ることとなりました。

これらの結果、売上高は5,944百万円(前年同中間期比7.4%増加)、営業利益は64百万円(前年同中間期比22.7%減少)、また、営業外収益として協賛金収入14百万円及び持分法による投資利益13百万円を計上したこと等により、経常利益は106百万円(前年同中間期比19.7%減少)、親会社株主に帰属する中間純利益は78百万円(前年同中間期比0.4%増加)となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメントの状況は次の通りであります。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、引き続き、高付加価値化の方針のもとでブランド力向上のための企画や、インバウンド需要の取り込みに取り組んでまいりました。台風や猛暑の影響による来店客数の減少は一部みられたものの、総じてインバウンド需要が堅調で、売上高は前年同中間期を上回って推移いたしました。利益面におきましては、新規出店及び既存店の改装にかかる費用増はありましたが、増収及び生産性向上により吸収し、営業利益も前年同中間期を上回りました。

この結果、当中間連結会計期間の同グループの売上高は2,338百万円(前年同中間期比8.3%増加)、営業利益は194百万円(前年同中間期比24.9%増加)となりました。

店舗の状況につきまして、2024年7月に、直営店「ぎおん 刀」を新規に出店いたしました。また、2024年8月中旬より「XEX WEST」の全面改装工事を行っております。店舗数は直営店10店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについても、付加価値の向上と客単価の引き上げに努めてまいりました。イートインの営業につきましては、台風や猛暑の影響はあったものの、経済活動の正常化及び新店舗の寄与により、売上高は前年同中間期を上回りました。デリバリーの営業につきましては、経済活動の正常化に伴う減収傾向が下げ止まり、また、企業等からのケータリングの受注も好調で、当中間連結会計期間後半の売上高は前年同中間期を上回って推移いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の同グループの売上高は3,606百万円(前年同中間期比6.8%増加)、営業利益は364百万円(前年同中間期比1.2%減少)となりました。

店舗の状況につきまして、2024年4月に、直営店「SALVATORE CUOMO Cafe テラスモール湘南」、FC店「La Stagione 軽井沢」を、同6月に、直営店「A destra Salvatore」をそれぞれ新規に出店いたしました。また、2024年3月に、直営店「THE GRILL SEASONING & HERBS」の業態を変更し、「PIZZERIA MANCINI TOKYO」としてリニューアルオープンいたしました。2024年5月には直営店「SALVATORE CUOMO & BAR 千葉」をFC企業に売却し、また同7月にはFC店を直営化して改装し、「Tavernetta Salvatore 仙川」としてリニューアルオープンいたしました。一方、直営店「PIZZA SALVATORE CUOMO 三鷹」及び「STEAK THE FIRST 日本橋」を閉店し、経営資源の効率化を図りました。これらの結果、店舗数は直営店38店舗、FC店29店舗となりました。

③その他

その他は、人材派遣事業(ただし同事業は休眠中)により構成されております。当中間連結会計期間の同グループの売上高は一百万円(前年同中間期は売上高一百万円)、営業損失は1百万円(前年同中間期は営業損失1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は2,925百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円増加いたしました。これは主として、売上高の増加による売掛金の増加83百万円等によるものです。固定資産合計は2,015百万円と

なり、前連結会計年度末に比べ107百万円増加いたしました。これは主として、新規出店及び店舗設備の維持更新工事を行ったことによる建物及び構築物の増加80百万円、その他(有形固定資産)の増加47百万円等によるものです。

この結果、総資産は4,940百万円となり、前連結会計年度末に比べ225百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は1,981百万円となり、前連結会計年度末に比べ256百万円増加いたしました。これは主として、仕入高の増加による買掛金の増加85百万円、金融機関からの借入による短期借入金の増加50百万円、営業活動の活発化に伴う未払金の増加83百万円等によるものです。固定負債合計は2,463百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円減少いたしました。これは主として、返済による長期借入金の減少111百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,444百万円となり、前連結会計年度末に比べ147百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は496百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する中間純利益の計上78百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は10.0%(前連結会計年度末は8.9%)となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度の期末残高と比較して1百万円増加し、1,794百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、224百万円の収入超過(前年同中間期は195百万円の収入超過)となりました。

これは、税金等調整前中間純利益104百万円に減価償却費78百万円、減損損失2百万円等の調整を加味した上で、売上高の増加に伴う売上債権の増加額83百万円、棚卸資産の増加額19百万円及び仕入債務の増加額85百万円、未払金の増加額64百万円、未払消費税等の減少額67百万円等があったことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、153百万円の支出超過(前年同中間期は74百万円の支出超過)となりました。

これは、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出172百万円等があったことによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、69百万円の支出超過(前年同中間期は178百万円の支出超過)となりました。

これは、短期借入金の増加額50百万円、長期借入金の返済による支出111百万円等があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近の業績動向等を踏まえ、2024年4月15日に公表いたしました2025年2月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細については、本日公表いたしました「2025年2月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,792,207	1,794,161
売掛金	613,906	697,503
原材料及び貯蔵品	155,430	174,587
その他	247,793	261,953
貸倒引当金	△2,303	△2,640
流動資産合計	2,807,034	2,925,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	622,942	703,520
その他(純額)	144,058	191,505
有形固定資産合計	767,000	895,025
無形固定資産		
その他	4,374	9,594
無形固定資産合計	4,374	9,594
投資その他の資産		
投資有価証券	135,828	149,358
長期貸付金	298,101	258,101
敷金及び保証金	575,373	590,223
その他	173,471	159,031
貸倒引当金	△46,154	△46,154
投資その他の資産合計	1,136,620	1,110,560
固定資産合計	1,907,995	2,015,180
資産合計	4,715,029	4,940,746
負債の部		
流動負債		
買掛金	451,507	537,282
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	222,932	222,932
未払金	592,291	676,242
未払法人税等	4,201	2,137
契約負債	64,486	78,317
株主優待引当金	64,332	65,049
店舗閉鎖損失引当金	13,255	13,255
その他	312,192	336,083
流動負債合計	1,725,199	1,981,300
固定負債		
長期借入金	1,689,214	1,577,748
資産除去債務	815,529	832,276
その他	67,500	53,226
固定負債合計	2,572,244	2,463,251
負債合計	4,297,443	4,444,551

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	375,831	375,831
利益剰余金	△7,952	70,687
自己株式	△556	△688
株主資本合計	417,322	495,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	363
その他の包括利益累計額合計	262	363
純資産合計	417,585	496,194
負債純資産合計	4,715,029	4,940,746

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	5,537,941	5,944,997
売上原価	4,425,858	4,765,853
売上総利益	1,112,082	1,179,143
販売費及び一般管理費	1,028,271	1,114,396
営業利益	83,811	64,746
営業外収益		
受取利息	3,826	2,882
協賛金収入	19,102	14,981
持分法による投資利益	10,433	13,376
その他	26,784	21,433
営業外収益合計	60,146	52,672
営業外費用		
支払利息	9,761	9,443
その他	1,647	1,492
営業外費用合計	11,409	10,935
経常利益	132,548	106,483
特別損失		
減損損失	20,719	2,323
特別損失合計	20,719	2,323
税金等調整前中間純利益	111,829	104,160
法人税、住民税及び事業税	176	2,137
法人税等調整額	33,292	23,382
法人税等合計	33,468	25,519
中間純利益	78,360	78,640
親会社株主に帰属する中間純利益	78,360	78,640

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	78,360	78,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	100
その他の包括利益合計	△25	100
中間包括利益	78,335	78,741
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	78,335	78,741
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	111,829	104,160
減価償却費	85,187	78,104
減損損失	20,719	2,323
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,164	336
株主優待引当金の増減額(△は減少)	2,928	717
受取利息及び受取配当金	△3,843	△2,904
支払利息	9,761	9,443
持分法による投資損益(△は益)	△10,433	△13,376
売上債権の増減額(△は増加)	△102,748	△83,597
未収入金の増減額(△は増加)	△2,396	475
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14,926	△19,157
前払費用の増減額(△は増加)	△5,419	△4,017
仕入債務の増減額(△は減少)	73,690	85,774
未払金の増減額(△は減少)	54,574	64,698
未払消費税等の増減額(△は減少)	△63,675	△67,506
預り金の増減額(△は減少)	12,730	101,102
その他	3,419	△21,516
小計	177,561	235,060
利息及び配当金の受取額	31,968	2,924
利息の支払額	△9,580	△9,096
法人税等の支払額	△4,398	△4,201
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,550	224,687
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△144,670	△172,166
無形固定資産の取得による支出	—	△5,944
貸付金の回収による収入	80,000	40,000
敷金及び保証金の差入による支出	△12,661	△18,886
敷金及び保証金の回収による収入	10,617	3,971
その他	△7,340	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,054	△153,025
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△108,661	50,000
長期借入金の返済による支出	△52,801	△111,466
リース債務の返済による支出	△16,836	△8,110
自己株式の取得による支出	—	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,298	△69,708
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△56,802	1,953
現金及び現金同等物の期首残高	2,041,056	1,792,207
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,984,254	1,794,161

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

保証債務

(株)ICONIC LOCATIONS JAPANに対するもの

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
家賃に対する保証債務	547,065千円	500,174千円
合計	547,065	500,174

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次の通りです。

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
給与及び手当	217,522千円	226,181千円
支払手数料	301,124	351,168
株主優待引当金繰入額	40,403	41,924
貸倒引当金繰入額	6,163	336

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記の通りです。

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
現金及び預金	1,984,254千円	1,794,161千円
現金及び現金同等物	1,984,254	1,794,161

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,159,821	3,378,119	5,537,941	—	5,537,941	—	5,537,941
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,159,821	3,378,119	5,537,941	—	5,537,941	—	5,537,941
セグメント利益又は損失 (△)	155,792	368,699	524,491	△1,148	523,343	△439,532	83,811

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、休眠中の人材派遣事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△439,532千円には、セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて20,719千円の減損損失を計上しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,338,432	3,606,564	5,944,997	—	5,944,997	—	5,944,997
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,338,432	3,606,564	5,944,997	—	5,944,997	—	5,944,997
セグメント利益又は損失 (△)	194,516	364,167	558,684	△1,138	557,545	△492,798	64,746

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、休眠中の人材派遣事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△492,798千円には、セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて2,323千円の減損損失を計上しております。